

Sanjo Minami Rotary Club

週報

2005～2006年度

第2560地区 三条南ロータリークラブ

2005年12月12日 第1769回 本年度第20回

今週のおロータリアン



- 【出席率】 会員63名中51名
【先々週の出席率】 83.05%
【ゲスト】 新潟県五十嵐川改修事務所 所長 三原田一男様
【ヴィジター】 長岡東RCより 伊丹敏彦君
【先週のメークアップ】
12/5 中條G年度地区運営会議（三条）へ 菰澤喜一郎君
12/7 三条RCへ 武藤昭三君 坂井範夫君 若井 博君
12/8 三条東RCへ 永桶栄資君
12/8 中條G年度地区各種大会関係者会議へ 広岡豊樹君 丸田肇一君 佐藤嘉男君

会長挨拶

佐藤 栄祐 会長



ご挨拶を申し上げます。

先日、坪井先生に「『歯』と聞くと震えが来る」と言われ、『歯』に携わる者として誠に遺憾に思っております。姉歯が引き起こした耐震強度の改竄事件で世間は騒然としておりますが、妹歯がアプリ出されてくるのではと感じております。姉がおりますれば必ず妹がおります。

先週もまた、知人に不幸がございましてお参りに行っていました。喪主の方は、以前我がクラブに在籍されておられた方であります。御礼のご挨拶の中で、亡くなられた父君の事を大変尊敬しているとおっしゃっておられました。ドンと胸をつかれる思いを致しました。私が亡くなった時に、同じ様に息子が挨拶で父を尊敬していると言ってもらえるだろうかと考えました時、いささか忸怩たる思いが致しました。

国際ロータリークラブ 会長
第2560地区 カバナー
第4分区アシスタントガバナー
会長 佐藤 栄祐
三条南ロータリー事務局

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー(スウェーデン)

神 成 肅 一 (新潟西)

片 山 弘 (燕)

幹 事 船久保 孝 志

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

tel 0256-35-3477

e-mail info@sanjo-minami.jp

SAA

荒 澤 威 彦

三条信用金庫本店内

fax 0256-32-7095

URL <http://www.sanjo-minami.jp>

話題をロータリー関連に戻しまして、三条東ロータリークラブから今週15日（木）例会での卓話の依頼がございました。自分のクラブの挨拶でもアップアップしておりますのに、20分程しゃべりなさいとのこと。何を申し上げてよいやら見当が付きません。恥をかきに行く様でなりません。それにしてもよくメンバーを集められたものだと感心させられます。創立のエネルギーなのでしょうか。私共では1～2人確保するのに四苦八苦しておりますのに。

そう、そう、先週、新会員の件でご承認いただけたものだと思いますが、2～3名の方から、圏外から大丈夫なのだろうかといったクレームがございましたが、その方の活動拠点は三条だそうで、夜の活動も大丈夫だそうでありますので、ご了解賜わりとう存じます。

最後になりますが、今週の最大の珍事は何といっても入力ミスによる300億円の損失ではないでしょうか。私は株には縁がございませんのでわかりませんが、皆様のうちには大儲けされた方もおられるのではないかとうらやんでおります。おめでとうございます。

幹 事 報 告

船久保 孝志 幹事

●越後春日山RCより 例会場、例会日変更のお知らせ

1月より （新例会場） ホテルハイマート 上越市中央1-2-3

TEL 025-543-3151

FAX 025-544-5578

（例会日） 木曜日 ⇒ 火曜日 12:30～13:30

●三条市特別支援教育研究協議会より

特別支援学級児童生徒「ウィンターフェスティバル」出席お礼

※12月2日 鈴木圀彦人間尊重委員長出席



～12月12日 ¥29,000 今年度累計¥539,000～

長岡東 伊丹君
佐藤（栄）君

台湾グルメツアーを楽しんできました。
寒い日が続いております。そんな悪条件下で河川改修工事でご苦労されておられる方々に敬意！

船久保君
白倉君

三原田様、本日は卓話有難うございます。よろしくお願い致します。
先般、妻の死去に際しましては御懇篤な御弔慰並びに御厚志を賜わり有難うございました。お陰をもちまして滞りなく初七日の法要を済ませました。有難うございました。

飯山君
安達君
田中（久）君

本日の卓話、三原田さんご苦労さまですが、宜しく申し上げます。
三原田所長様、卓話大変ご苦労様です。有難うございます。
五十嵐川改修工事によりこの度横町へ転居しました。漸く落ち着きました。今後共宜しく
お願い申し上げます。

吉田（秀）君

飛行機に乗っているだけで楽しくリラックス出来る私は先週また小旅行に。これからは鳥インフルエンザが恐くて当分の間出掛けられませんね。

坪井君
滝口君

お寒くなりました。ボックスに協力。
今日からは大きなハンマーが動き始めるので戦力が増します。今年もいい歳になりそうです。

馬場（茂）君

今年の年金行事も7日の代議員理事の瀬波温泉 汐美荘での忘年会で終了しました。当日は素晴らしい夕日でした。

永桶君
大原君、岡村君、佐藤（秀）君、田代君、田中（正）君、田中（悌）君、馬場（一）君
BOXに協力致します。

鈴木（圀）君

本日は住谷さんの代理です。ご協力有難うございました。

「五十嵐川河川改修事業について」

新潟県五十嵐川改修事務所
所長 三原田 一男 様



只今、ご紹介にあずかりました五十嵐川改修事務所所長の三原田でございます。昨年7月の水害で被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。また、本日この様な場にお招きいただき、五十嵐川改修事業につきましてご説明させていただき席を設けさせていただき有難うございます。

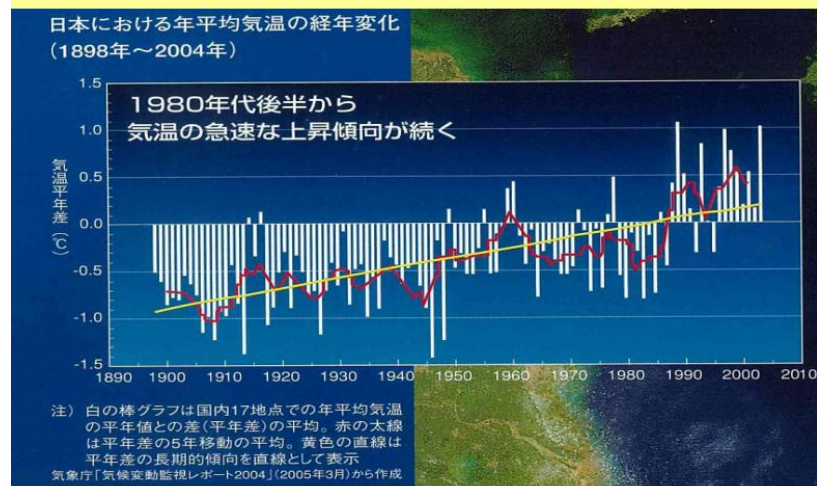
五十嵐川改修事務所は、災害復旧の助成事業と災害関連事業の2つの顔をもっております。総額に致しまして400億、44名体制です。実は、私は三条は初めて、昨年は十日町におりまして水害と地震という経験をしてこちらには今年の4月に就任致しました。出生地は上越市清里区、以前は中頸城郡清里村と申します小さな村であります。宜しくお願い致します。

それでは、五十嵐川の状況についてご説明申し上げます。

モンテリオールでも地球温暖化の会議が開催されておりますが、最近とみに多くの悲惨な災害が発生しています。9月に発生しました台風14号による災害、通年の降雨量の3倍の1320mmの雨が9月3日～6日にかけて降りました。また、アメリカでは「カトリーナ」というものが発生し多くの方々が被災されました。21世紀は自然災害の世紀とも言われるような状況です。

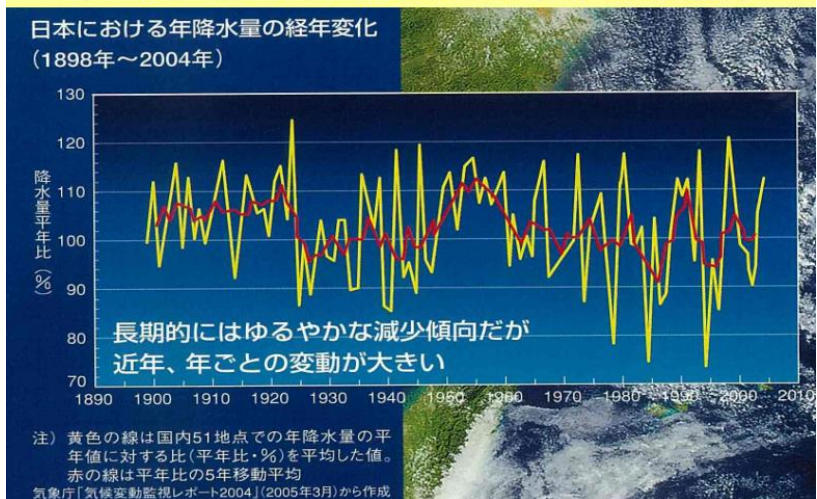
五十嵐川改修につきまして、①近年の降雨の状況の特徴 ②7.13水害の気象状況 ③7.13水害降雨時のダムの操作 ④被災状況と原因 ⑤改修計画について事業進捗状況 について簡単に説明させていただきます。

A 日本における年平均気温の経年変化



Aは日本における年平均気温の経年変化で、気象庁が纏めたものなのですが、1971～2000年までの30年間の平均値を0として気温がどのようになっているかをグラフ化したものです。黄色のラインは各年毎のものを平均したものです。これによりますと100年間に1℃位上昇するという傾向が伺われます。

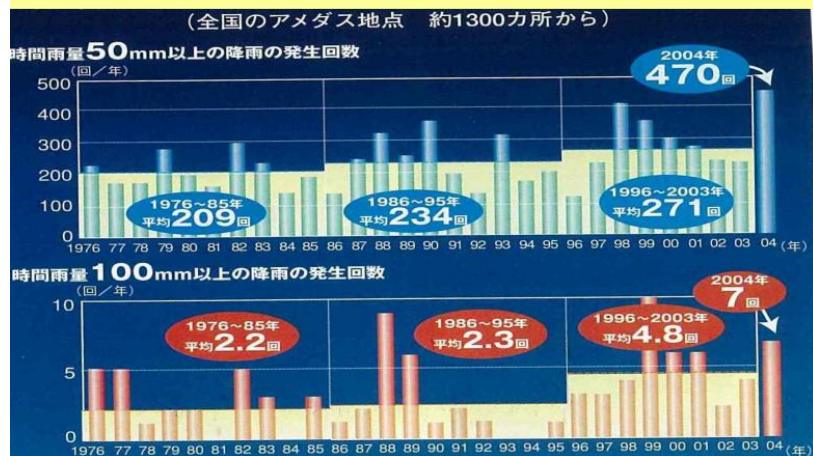
B 日本における年降水量の経年変化



B・・・続いて雨の状況です。これもやはり平年値を100としてみた場合どうであるかという事ですが、降水量の変動が過去に比べ大きくなっています。つまり、降る年と降らない年の差が大きい傾向にあります。

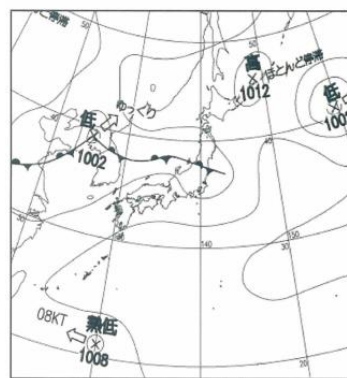
C 平成16年度豪雨頻度

1時間降雨量が50mm以上・時間雨量100mm以上の発生回数

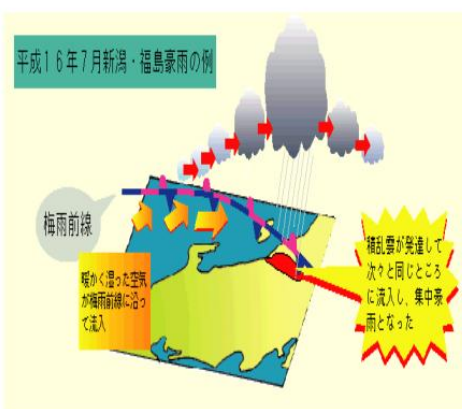


Cは、1976～2004年までの30年を10年単位で100mm以上の発生回数がどの位あったかというものです。70年代から80年代にかけては平均100mm以上が2.2回、86～95年にかけては2.3回、1996～2003年までを見ますと平均4.8回と100mm以上の雨の降る回数が非常に多くなってきています。特に昨年は7回となっています。また、最近の傾向として、局所的に降ると言われています。

D 7.13水害の気象状況

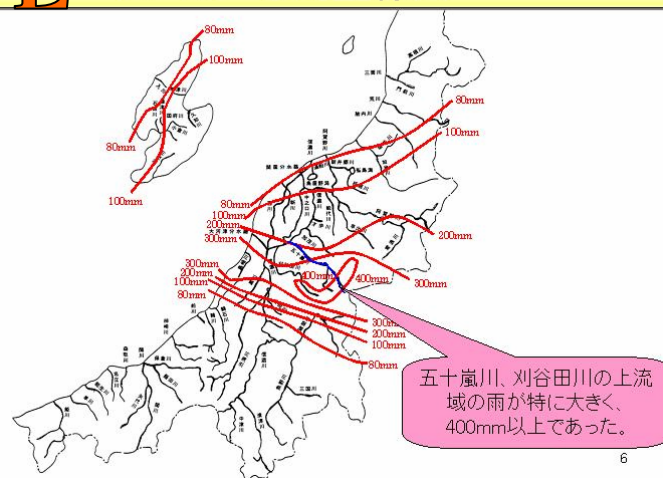


平成16年7月13日09時



5

E 7.13 等雨量線図



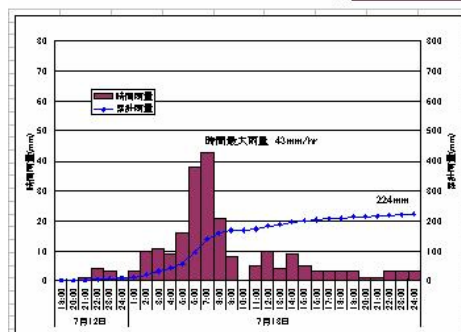
6

D・E・・・これは7.13水害の気象状況ですが、梅雨前線に湿った空気が流れ込み、積乱雲が三条上空に発達して集中豪雨となった訳です。

五十嵐川の上流では約400mmを超える降雨がありました。400mmというのは、この地域での観測史上初めてだと聞いております。

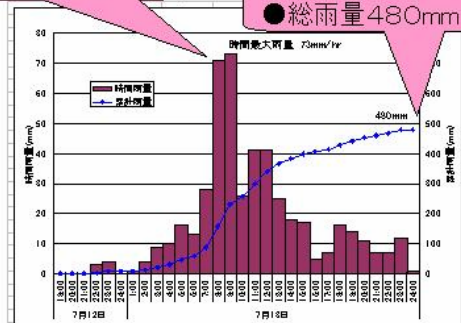
F 7.13 各観測所雨量の記録

●70mm以上が2時間続いた。



三条観測所(気象庁)

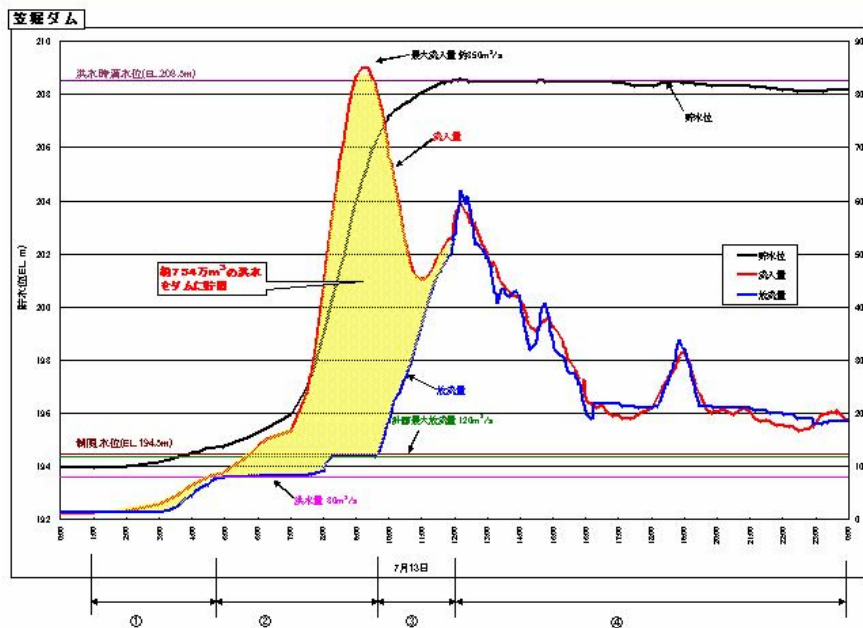
●総雨量480mm



笠堀ダム観測所(新潟県)

F・・・特に笠堀ダム上流で1時間に70mm以上の雨が2時間続き、降り始めから480mmの総雨量となる。特に13日の7時から8時、9時の雨量は大きかった。

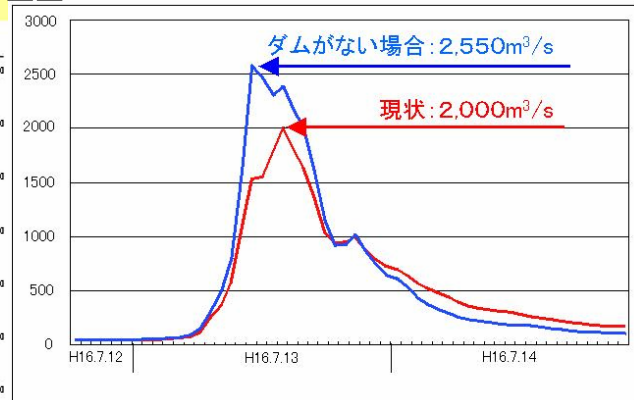
G 笠堀ダムの操作実績



この黄色の部分とはダムで溜めた水の量の754万トン。13日の1時頃だったのが図から分かります。水位が限界に達していたことが分かります。

もし仮にダムが無かったら、2550トンの水がもっと早く流れて来たと思われます。あの地域の流可能性というのは1700トンとなっています。

H 新橋計画基準点の流出結果



G・H・・・これが笠堀ダムの操作実績です。この黒い線は水位の状況を示し、青い線がダムの操作です。ここで雨が降り始めてから80トンの放流をしています。更に120トン。これ以上になりますと当然ダム操作においては限界水位の8割までに達した時には放流するという状況になっています。

I 五十嵐川浸水状況(上空写真)



I・・・これが当時の上空写真です。1320haが浸水し、7500件を上回る被害が発生しました。

J

水防状況 三竹1丁目



J・・・三竹の状況です。水位が地面より上回っているのが分かります。

K

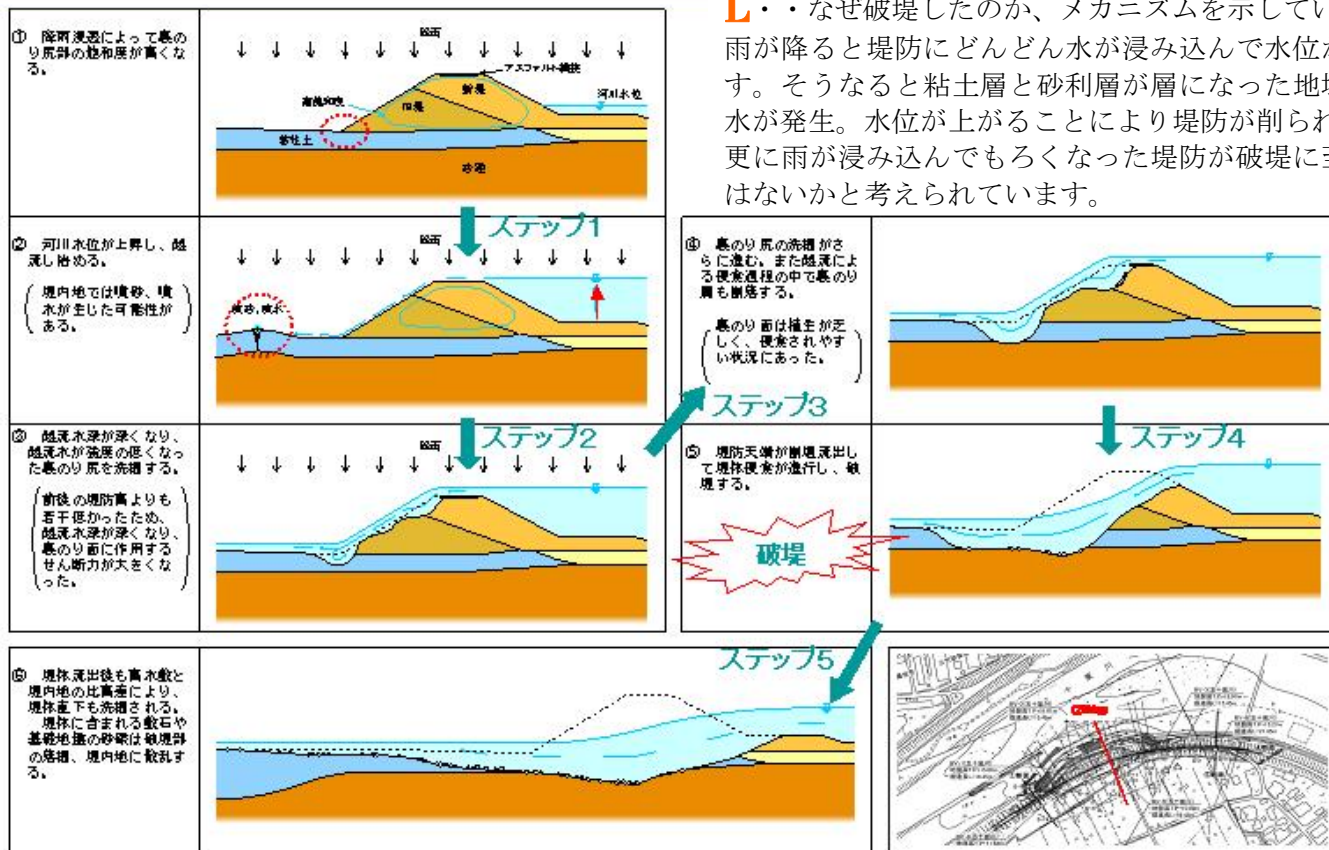
破堤状況 諏訪1丁目



K・・・破堤現場の写真です。堤防全てが流されてしまっています。

L

破堤のメカニズム



L・・・なぜ破堤したのか、メカニズムを示しています。雨が降ると堤防にどんどん水が浸み込んで水位が上がります。そうすると粘土層と砂利層が層になった地域の為、湧水が発生。水位が上がることで堤防が削られます。更に雨が浸み込んで弱くなった堤防が破堤に至ったのではないかと考えられています。

M

五十嵐川改修計画について

信濃川合流点から渡瀬橋までの3,900mが事業区間です。



- ・ 河槽の拡大
 - ・ 流路の是正
 - ・ 河岸侵食の防止
 - ・ 堤防強化対策
- 洪水の流下する断面を確保するため、築堤、下流部河道拡幅、河床掘削、橋梁の架替を行います
下流の河道蛇行区間においては、洪水がスムーズに流下できるよう法線の改善を図ります
堤防を保護するため、護岸を設置します
漏水のおそれがある箇所には、漏水対策等を実施します

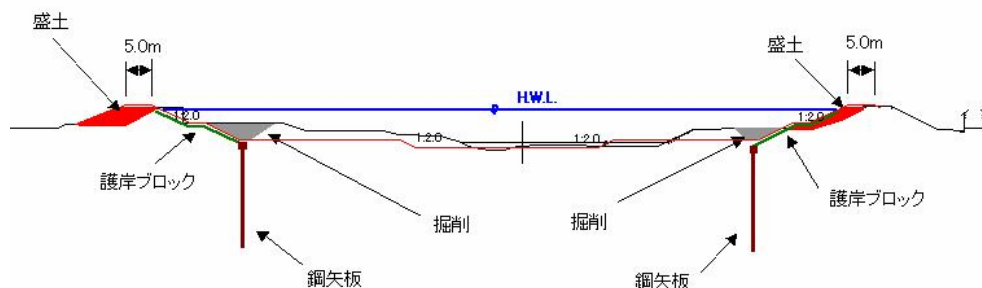
14

信濃川合流点から渡瀬橋までの3,900mが事業区間となっており、363億円という助成事業となっています。事業期間は平成16年から20年までとなっています。川の改修を行なうにあたり、現在、信濃川の合流点付近の川幅は70mしかありません。しかし、破堤した場所は200mあります。私もこの地域に来て驚いたのですが、これだけの人口が集中している中、川下が川上よりも狭いという川は日本中どこを捜してもみてもありません。ここで計画水位1200トン程度ですから、こちらへ来ればもっと落ちます。これを解消する為に川幅を広げます。そして、河川の修正をし、堤防を保護するためにブロックをはり、この地域においては増水が発生しているので矢板を打ち込みます。

N

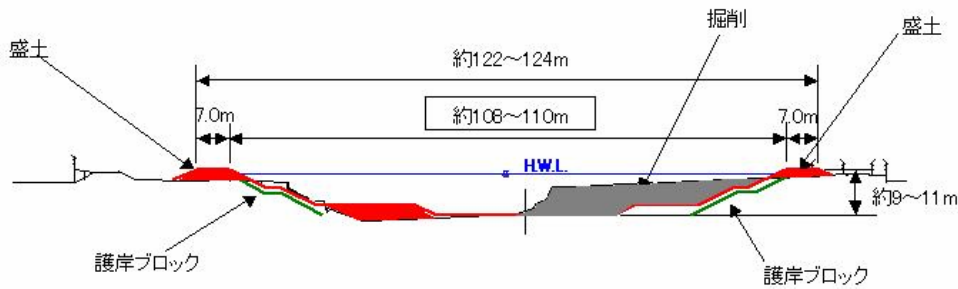
標準横断面図

上流部標準横断面図
(田島橋～渡瀬橋)



N・・・破堤した地点に堤防を築いて矢板を打って護岸をはり、前面にも護岸をはる、そういうふうな造り方をします。

下流部



O・・・田島橋からの下流です。
堤防を若干あげて護岸をはる、中の
所を掘削をして持ち出す、というよ
うな計画を現在もっております。

私たちがどのように事業を進めていこうか考えましたこと、今後のことをご説明申し上げます。

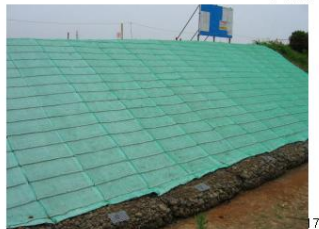
まず、一つには、多くの方々が非常に水に対する不安を抱えられており、それを除去し、安心して住んでいた
だけのような地域にしなくてはならない、梅雨入りの豪雨前までに削られた堤防を撤去、直して芝をはる、そうい
うふうに考えました。これもやはり本町の護岸から削られた部分を補強し、現在は布製のものにコンクリートを詰
めた護岸に変えております。**P、Q**

P H17梅雨入り前までの出水対応(1)

被災状況 (越水による裏法の浸食)
五十嵐川・左岸 曲渕2丁目



復旧状況
法面整形、植生シート敷設
およびドレーン材設置



Q H17梅雨入り前までの出水対応(2)

被災状況 (護岸の流出・崩壊)
五十嵐川・右岸 本町4丁目



復旧状況
布製型枠工による防護



R H17梅雨入り前までの出水対応(3)

被災状況 (破堤)
五十嵐川 左岸 諏訪1丁目



復旧状況
堤防再構築、植生シート敷設
およびドレーン材設置



S H17梅雨入り前までの出水対応(4)

被災状況
一新橋 (北新保2丁目より)



復旧状況
既設一新橋撤去



諏訪の破堤した箇所。矢板をうって裏側に堤防を築き、芝生をはるという作業をしております。

一新橋です。昭和27年に建てられたものと聞いて
おります。木製、木製と言いますと、橋の橋脚という
ものの間隔が短く、豪雨時に流れて来る流木などによ
って水位が上昇するというので撤去を決めました。

T H17梅雨入り前までの出水対応(5)

被災状況 (越水による裏法の浸食)

五十嵐川 右岸 三竹1丁目



復旧状況

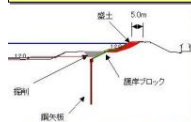
堤防再構築、植生シート敷設
およびドレーン材設置



以上の様なことを5月末までに完了しました。

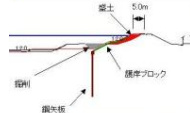
そして、さらに本格的な復旧であります、基本的には矢板をうって護岸をはる、そして、少し盛る、こういうふうな工事に着手しております。矢板の長さは、大体7～8mから10数mです。

U 施工状況(矢板打込み)



7月に矢板の上にブロックを積むためのコンクリートをうっている状況

V 施工状況(笠コン完了)



平成17年8月撮影

23

W 11月現在の施工状況(1)



連節ブロック設置(田島地区)

X 11月現在の施工状況(2)



盛土・覆土状況(諏訪地区)

現在もならして、ブロックをはって、その上に土をかけて環境に配慮しています。

Y 11月現在の施工状況(3)



下部工施工状況(一新橋)

Z 11月現在の施工状況(4)



工事区間中間より田島橋をのぞむ

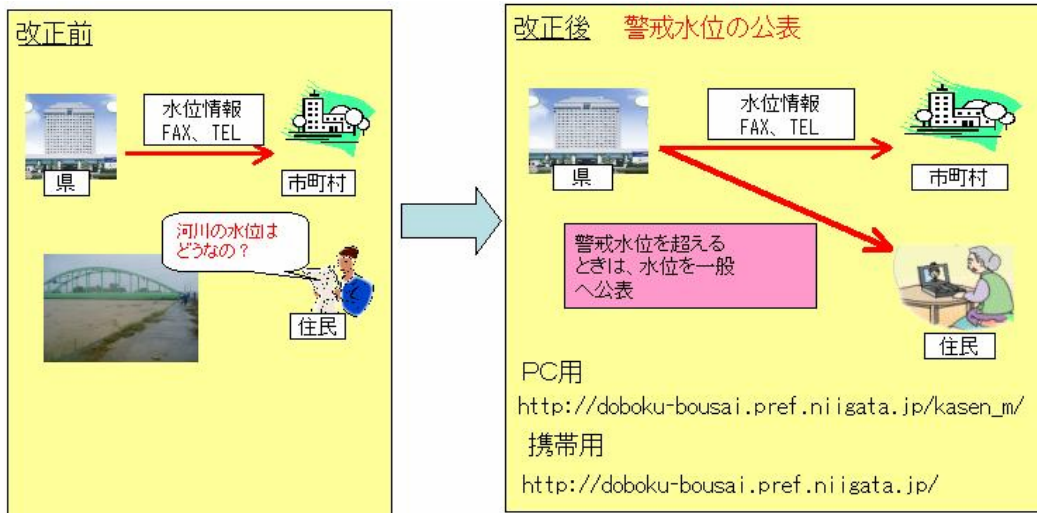
Y・・・一新橋、10月中旬に入札をし、本体工事にかかっています。

Z・・・11月現在の状況。JRの鉄道橋から渡瀬橋までの1.9kmの区間の矢板の打ち込み護岸につきましては年内に完成させたいと願っております。

なお、五十嵐川の利用と橋のデザインについて、この地域におきましてご利用になられる方々のご意見を事業の中で反映していこうと考えております。意見を公募し、意見交換会を現在開催しております。

水防法改正について

①水位の公表（法12条第2項）



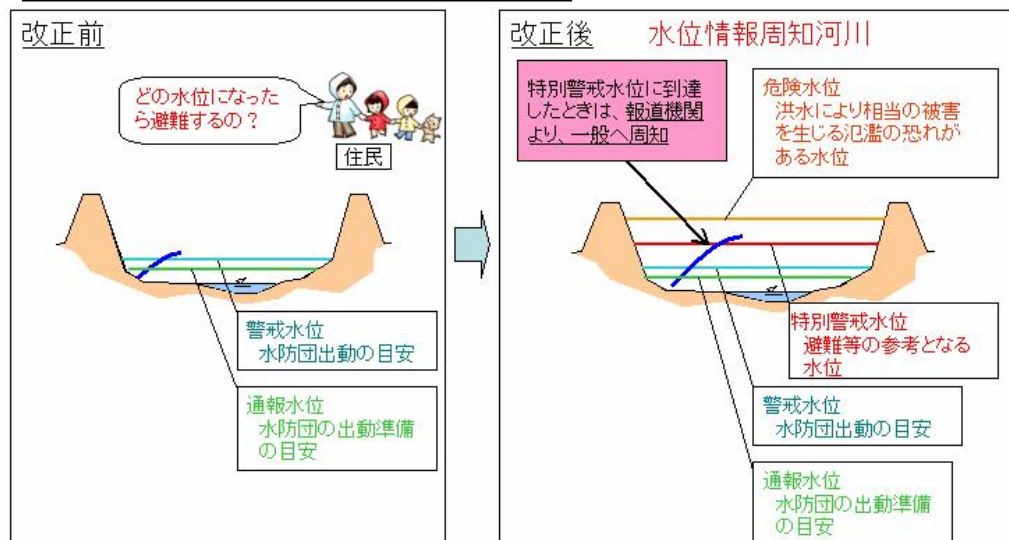
今回、5月に水防法が改正されております。

今までは川の水の状況等を市町村に対してお知らせしていたという状況ですが、改正により、水位情報を直接住民の方々が得られるようになりました。パソコンでも携帯でも得られます。

また、水位につきましても、警戒水位と通報水位に分かれていたものを、「特別警戒水位」と「危険水位」を加えて4段階に分け、分かりやすくしました。

水位情報（到達情報）の周知について

（法13条第2項、附則第2条）



時間の関係で簡略な説明になってしまいましたが、何れに致しましても、400棟の家を来年12月までに移転していただけるよう進めております。現在用地費130億がございしますが、その内の50%が概ね12月までに契約していただくことになっており、来年の3月までには70億から80億位が契約いただけたと考えております。河川の中にかかるものについて、18年の12月までに家屋を取り壊して土地を提供していただき、河川の掘削、並びに橋の架け替えに着手していくように考えております。

以上、分かりにくい説明で申し訳ございませんでしたが、よろしくお願い致します。

Who is this Rotarian of this week?

この方は **どなたでしょうか?** この方にお聞きしました。

Q 1 あなたの年齢は何歳ですか

A : 58歳

Q 2 あなたの趣味は何ですか

A : 読書、里山（畑）造り

Q 3 もし若くなれるなら何歳位になりたいですか

A : 大学生（18歳）

Q 4 その年になれたらどんな職業についていると思いますか

A : 大学生（本当に希望したことを始めるつもりで）

Q 5 一つだけ望みが叶うなら何を望みますか

A : 長男に生まれないこと。家を出て自由に自分のやりたいことをするために

Q 6 思い出に残るロータリーでの出来事がありますか

A : フランス、ベニスの海外旅行

Q 7 その他お話したいことはありますか

A : 来年度は会長を務めさせていただきます。ご協力宜しくお願い致します。

どなたがおわがりになりましたか?

答えは 会員ギャラリー「見て見て見て／フォトギャラリー」にあります。

また、プリント週報は次週週報に答えを掲載いたします。

[【線画に戻る】](#)

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか